

笑う門には 福来たる



株日本交通社
発行人 光田秀之
☎089-946-3911

うつせきほどのいまして
やせきみうびき
やせきみせりたと
うつせきへいへちあ
うせいたるままで
あらしめたまう
ちかくよわきわせに
うからもやしなわしめ
あたえたと
ああ
あうつじと
なみだながる
かりをがるふ
しくみ

◆雨の恵みを自覚しましょう
「職場の教養」より

また、歯磨きや洗顔、手を洗う際にも、節約を意識しました。断水を経験してから、Nさんは水が出ることを当たり前とは思わないようになったのです。

水は、我々の生活に欠かせないものです。雨のありがたみを心に留めて、自然の恵みである水に感謝し、日々の生活を過ごしたもの。

日本列島の多くの地域には、夏が来る前に、長雨が続く梅雨があります。梅雨入りから梅雨明けまで、梅雨に関するニュースが話題に上がりります。

梅雨の時期のどんよりとした天気は、仕事にも影響を与えることがあります。それを嫌う人もいるでしょう。しかし、雨は我々にとって大切な恵みなのです。

Nさんはかつて断水を経験しました。役所から事前に連絡があり、準備も行なっていただき大丈夫だと高を括っていました。

しかし、断水が始まると、水道が使えない不便さを痛感しました。風呂の残り湯をトイレに利用する際、流すために大量の水が必要になります。しかし、バケツを一つしか用意しておらず、トイレを利用する度に何往復もしました。

また、歯磨きや洗顔、手を洗う際にも、節約を意識しました。断水を経験してから、Nさんは水が出ることを当たり前とは思わないようになつたのです。

水は、我々の生活に欠かせないものです。ある水に感謝し、日々の生活を過ごしたもの。

明朗・愛和・喜衝

日本再発見！

女川駅（宮城県女川町）

JR石巻線の終着駅。ローカル駅といった趣だったが、2011（平成23）年の東日本大震災では大きな被害を受けた。駅舎は全壊して土台だけが残った。駅に隣接していた温泉温浴施設「ゆぼっぽ」も跡形もなく消えてしまった。その後4年をかけて復興が進み、新たな3階建ての駅舎で再スタート。最上階には展望デッキが整備され、「ゆぼっぽ」も復活。木造の大きな屋根は、ウミネコが羽ばたく様子をイメージしてデザインされました。

新たな女川の復興のシンボルです。



保親さんの人生万感

北国の短き夏を惜しむのか

夜空を焦がすねぶたの熱気

狂おしく燃えるねぶたよ
人もみな短き夏を惜しむがごとく

お金は妥協を好まない

請求すべき時は堂々と。支払う時は素早く喜んで。
金銭は循環させてこそ生きている。

